

仮放免制度の改正を求める意見書の提出 仮放免者の情報を自治体が把握出来ない!

国によると、中長期在留者数と特別永住者数を合わせた在留外国人数は、令和4年末現在において307万5千人余りと初めて300万人を超え、過去最高を更新した。このうち、本県は約21万3千人であり、全国第5位の多さとなっている。監理措置制度の創設に伴い、仮放免制度は本来の趣旨どおり健康上又は人道上の理由等により収容を一時的に解除する措置と規定され、監理措置制度との使い分けが明確になされることになった。しかしながら、仮放免された外国人である被仮放免者は、就労ができないために不安定な生活を余儀なくされる現状は変わらない。よって、国においては、下記の事項について早急に措置を講ずるよう強く求める。(地方自治法第99条の規定により意見書を提出)

- 1 仮放免の許可については厳格に行うこと。被仮放免者が不法行為を行うなど退去強制事由に該当する場合には、収容及び速やかな送還を行うこと。
- 2 管理制度の対象とならない被仮放免者においても最低限の生活維持ができるよう、就労を可能とする制度の導入を検討すること。
- 3 被仮放免者の現状把握を確実にし、居住自治体に情報を提供すること。あわせて、不足している収容所の整備など、出入国在留管理体制の充実強化を図ること。

地域問題について

【(仮称)川口北警察署の新設と警察官の増員】 議会質問と選挙公約が実現!

事業概要
1 川口北警察署の新設 1,388,610千円(令和6年度)
(1) (仮称)川口北警察署庁舎建設費(3か年継続事業第1年次) 1,388,610千円

【庁舎概要】
川口市西立野地内
(都市計画事業石神西立野特定土地地区整理事業70街区等)
・建設地
・敷地面積 6,673㎡
・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て 約5,000㎡

【建設計画】
・令和2年度 用地取得(特別会計)
・令和4年度 基本設計
・令和5年度 実施設計・保留地購入
・令和6~8年度 庁舎建設
総事業費 約61.8億円



(庁舎イメージ)

【神根グラウンド場屋内50m水泳場の整備】 議会質問が実現!

事業概要
1 屋内50m水泳場の整備・運営の推進 33,516千円
(1) 屋内50m水泳場の整備・運営(PF1事業)に係る事業者等との調整 1,158千円
・屋内50m水泳場の整備・運営(PF1事業)に係る事業者等との調整
(2) モニタリング等支援業務委託 32,358千円
・専門的な知識・ノウハウ・経験等を有する事業者等にモニタリング等支援業務を委託(令和6~8年度の3か年契約)
※ 令和7、8年度については債務負担行為(34,030千円)を設定

2 屋内50m水泳場の整備・運営・維持管理 391,690千円
(1) 屋内50m水泳場の整備・運営・維持管理 391,690千円
・屋内50m水泳場の整備・運営(PF1事業)に係る事業者への対応(サービス購入料)
・事業期間:令和5年度から令和23年度まで
・総事業費:21,045,137千円

【事業スケジュール】
令和5年度 設計 令和6年度 工事 令和7年度 開業 令和8年度 運営・維持管理 令和9年度~令和23年度 運営・維持管理



鳥観図

【保護者負担の軽減! 県立学校の空調設備の推進】 会派での質問が実現!

事業概要
1 空調設備に係る公費負担 426,625千円
(1) 保護者負担への補助(新・規) 426,625千円
保護者負担で整備された普通教室の空調設備について、公費での更新を進め、空調設備費及び維持管理費の補助を実施する。

2 空調設備の整備 50,575千円
(1) 空調設備の更新(新・規) 20,415千円
保護者負担で設置した普通教室の空調設備を更新する。
ア 設計 7校
(2) 空調設備の設置(新・規) 30,160千円
普通教室に空調設備を設置する。
ア 設計及び工事 2校



【川口特別支援学校過密状態解消へ!】 議会質問が実現!

事業概要
1 既存特別支援学校における教育環境整備 678,695千円
(1) 既存特別支援学校における教育環境整備 678,695千円
校舎の増設及び備品の整備を行う。
ア 増設棟整備 川口特別支援学校 2棟 174名程度
イ 備品整備 川口特別支援学校 2棟 174名程度
令和8年4月及び令和10年4月

【整備スケジュール】
川口特別支援学校校舎の増設 R4 基本設計 R5 実施設計 解体工事 増築工事 R6 増築工事 供用開始 R7 増築工事 供用開始 R8 増築工事 供用開始 R9 増築工事 供用開始 R10 供用開始(北棟)



<川口特別支援学校校舎増築工事完成イメージ図>

【能登半島地震被災者支援の義援金活動】

能登半島地震 埼玉県の対応状況

埼玉県では、いざという時に役立つ「防災情報」や非常時の「緊急情報・避難情報・警報」などを配信。

県公式LINE 防災・災害情報

埼玉県 イツモ防災



Profile ~しらねだいすけの足跡~

主な県政の実績: SRと東京メトロの一日乗車券値下げ、屋内50Mプール川口市に設置、AIチャットボットの廃止 洪水ハザードマップの推進、あんしん賃貸住宅の拡充等、(仮)川口北警察署の新設

1979年5月13日生まれ、川口市朝日出生、十二月田(しむすだ)小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ボストン大学(政治科学学部)卒業 <留学中マンチェスター市市長室でインターン経験>、富士通(株)入社し、営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社、2007年の統一地方選挙で市内交通網(特に、コミュニティバス路線網)の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳)当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点、大野もとひろ参議院議員事務所スタッフ。朝日2丁目副町会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選、2023年には2回目の当選を果たす。現在: 学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディカルヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野RC、川口YEG、川口市ワンバウンドふらば〜るパレー参与、(公社)川口青年会議所卒業【令和5年度: 企画財政常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会 所属】

埼玉民主フォーラム川口支部 TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462 〒332-0001 川口市朝日2-17-7 http://www.d-shirane.jp




しらねだいすけ

Shirane Daisuke
Four of policy

やります!
できます!
届けます!

県政報告 令和6年 2月定例会

誰もが認め合える社会を目指して

立憲民主党

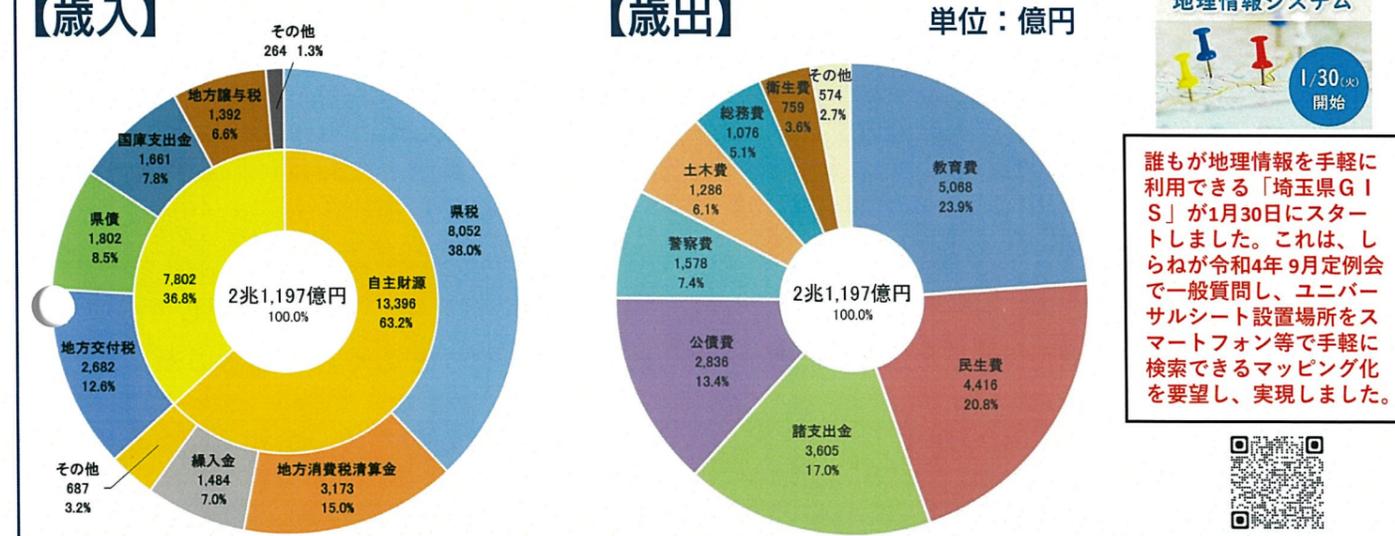
令和6年度当初予算 過去4番目の予算規模、4年連続の2兆円超え

埼玉県議会2月定例会は2月20日から27日に閉会しました。2兆1,197億4,400万円(前年度比4.1%減)の令和6年度一般会計当初予算や防災・減災、国土強靱化等の推進に係る費用などを盛り込んだ、319億5,822万円の補正予算など、計70議案が可決、1議案継続審査、5議案が同意されました。

また、「仮放免制度の改正を求める意見書」等の15議員提出議案も議決されました。令和6年度予算では、歴史的課題への挑戦(人口減少・超少子高齢社会への対応)として、更なるDXの推進による全庁GIS(地理情報システム)搭載マップの拡大や全庁共通メタバース空間の整備、公金収納の更なるキャッシュレス化の推進と、こども医療費助成制度の拡充や埼玉版流域治水対策の推進などを行います。また、困難な問題を抱える女性への支援の強化やジェンダー主流化の推進、CO2削減に取り組む中小企業等への支援や電動車(EV/PHV)の導入支援に取り組みます。



令和6年度当初予算 2兆1,197億4,400万円



子ども医療費助成 対象年齢拡大・所得制限撤廃が実現!

子ども医療費助成の補助対象年齢が、通院で就学前児童から小学校3年生まで、入院では中学校3年生までに引き上げられ、所得制限も撤廃されました。

これは、令和5年6月定例会で、しらねが補助対象を高校生まで引き上げてはとの質問に対し、大野知事は、国により統一的に実施されるべきと考えており、各都道府県と連携し粘り強く国に要望を続けていくと答弁。また、しらねの県政報告会において、2期目の当選を果たしたら財政当局に引き上げを要望すると宣言され、実現しました。県負担の年齢引き上げにより、各市町村において高校生まで無料化を検討しています。川口市は9月以降から年齢を引き上げる予定。

事業概要
1 子ども医療費助成 3,769,104千円
(1) 市町村事業費補助 3,768,771千円(拡充)
各市町村が実施した子供への医療費助成に対して、県から市町村へ補助金を交付する。(市町村1/2※、県1/2) ※さいたま市は補助対象外、財政力指数1を超える市町村の補助率は1/2未満

新規・拡充内容

区分	補助対象	対象年齢拡大
通院	就学前児童	小学校3年生まで
入院	就学前児童	中学校3年生まで
所得制限	あり	なし

※補助対象年齢引き上げにより、各市町村が様々な子育て支援を拡充

事業イメージ(現物給付の場合)



(2) 市町村監査等 333千円
・市町村の助成事業実施に関する監査実施や研修等に要する費用
・医療機関等で窓口負担が生じた場合の領収証発行に対する県医師会等への補助

訪問介護の基本報酬引き下げの見直しについて要望書を提出 介護が受けられない事態に！

4月から予定される介護報酬の改定で、**全体では1.59%のプラス改定ですが、政府は訪問介護の基本報酬を引き下げようとしており、小規模事業者を中心に衝撃が走っています。**これでは介護が続けられず、倒産が相次ぎ、地域の介護が崩壊してしまうのではとの危機感が高まっています。これを受け、しらねは地元川口市内の訪問介護事業所からの改善要望書、またヒアリングを通じて、訪問介護の基本報酬引き下げ方針は見直すよう埼玉県から国へ要望をして頂くよう知事要望（福祉部長対応）を3月26日にさせていただきました。



【要望事項】

1. 訪問介護の基本報酬の引き下げを撤回して至急見直しを行い、とりわけ経営が悪化している小規模な訪問介護事業者など地域や経営の実態に対応した事業所への助成金を支給すること。
2. 小規模事業者であっても実際に処遇改善加算を取れるようにするとともに、申請から早期に支給が行われるよう国から地方自治体に働きかけるとともに、処遇改善が賃上げに反映されているか実態を把握すること。
3. 介護報酬改定は、単に介護事業経営実態調査に基づくサービス全体の収支差率で判断せず、事業規模や地域の実態を踏まえた収支差率を十分踏まえて判断すること。
4. 訪問介護事業所の経営難の原因になっている人手不足を解消するため、まずは賃金を全産業平均並みに引き上げられるよう、利用者の負担増に繋がらないような介護従事者のさらなる処遇改善を行うこと。

真の行財政改革！ 身を切る改革≠人件費カット 提言により1,500万円の縮減が実現

決算特別委員会ではWi-Fi整備について提言を行い、整備の見直しがなされ1,500万円の縮減を実現。
・県有施設における公衆Wi-Fi整備について設備の新設を見直したことによる縮減（1,500万円）

また、3月8日に実施した地方創生・行財政改革特別委員会では、「県庁内のデジタル化」について、ガバメントクラウド【ガバクラ】移行問題で、自治体共通クラウドへの移行の遅れについて質疑を行いました。これは、自治体の基幹20の業務システムの仕様を統一する「情報システム標準化」について、少なくとも10%にあたる171自治体が2025年度末の移行期限に間に合わない事がデジタル庁の発表されたところです。移行困難の自治体には、**埼玉県も含まれ、しらねが調査した結果、「困難と確定」した7市町は、さいたま市・川口市などを合わせて比較的人口規模の大きい自治体でした。2市町についても困難な状況。**さらに、米国AWSのガバメントクラウドにこの情報システムをまとめて移行させなければならないなど返ってコスト高になるケースもあることが判明しており、無茶苦茶な内容です。この報道に先立って我が会派の埼玉民主フォーラムの代表質問（しらね作成）で、知事に質問しています。

Q.県内の自治体で、標準システムの移行期限に間に合わない自治体がどのくらいあるのか、またコスト高になっていないか。

A.県内63市町村中、18の市町村がITベンダーの人手不足や撤退などのため、令和7年度末までの移行は困難と国に申し入れている。複数の自治体によるクラウドの共同利用で既にコストダウンが実現されている場合には、ガバメントクラウドへの移行でかえってコスト高になるケースもあるとし、昨年11月、河野デジタル大臣に対し、国による十分な財政支援措置や、自治体の意見や要望を確実に酌み取る仕組みの構築を直接要望したところ、今後も、県内市町村の声を丁寧に把握しながら、全国知事会とも連携し、市町村の状況に応じた移行期限の柔軟な設定や必要な財源の確保などを国に強く要望していく。

県庁内の標準化... 171自治体間に合わず... 現場の負担大き...

171自治体間に合わず 基幹業務システム 25年末標準化

対象システム	期限までの移行	イニシャルコスト (見込)
生活保護 (23町村分)	×	57,761千円
児童扶養手当 (23町村分)	○	29,095千円

移行困難度	市町村名
困難と確定 (7市町)	さいたま市、川口市、越谷市、蕨市、上尾市、日高市、伊奈町
判断保留 (2市)	確定まで非公表

※上表のほか国のヒアリング待ちが9自治体（非公表）
 ※市町村のイニシャルコストは非公表

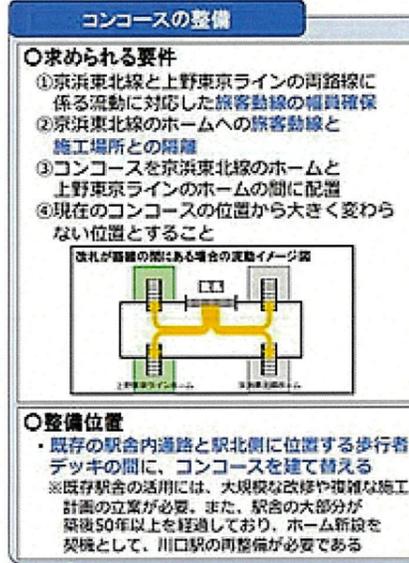
中距離電車（上野東京ライン）川口駅停車に向けて JR、市へ回答 早くても12年後

先日川口市から発表された川口駅に上野東京ラインの停車に向けた整備費用等JR東日本側からの回答について、私見を述べます。奥ノ木市長が指摘しておりますのは、同電車については、用途が自由に使える自主財源の市税収入が1,015億円あり、長期的かつ計画的な視点にたち未来への投資だとの市税収入が1,015億円あり、長期的かつ計画的な視点にたち未来への投資だと述べております。

また、川口駅の混雑緩和には京浜東北線と並走路線である上野東京ラインの中距離電車を停車させる事で解消する効果を訴えております。私は、この混雑緩和だけで考えるなら、**まず2030年に品川駅（将来リニアのターミナル駅で羽田空港に直結する）まで直結する地下鉄南北線直通の埼玉高速鉄道川口元郷駅と川口駅まで無料シャトルバスを走行させる事でJR線が運転見合わせ時の代替的措置（リダンダンシー）を考える事が解決の一助に繋がると考えます。**何故なら、徒歩では10分以上かかり、振替輸送となるバスは有料でありますので、中々元郷駅への移動は消極的になりがちになっております。基本的に請願駅でありますので、事業費については今後JR東日本側と協議するとしていますが、**ホームの増設等中距離電車停車にかかる費用は川口市がほぼ全額負担しなければならない事です。**

現時点で、川口市は既存デッキの活用と拡張、屋根設置の417億円から420億円の計画B案を想定しております。費用対効果については、費用便益が30年累計で1.63で、50年累計では1.89となっております。事業費のうち補助対象額の50%は国庫補助が期待出来るとしておりますが、基本的には市の基金や市債で賄う事になります。

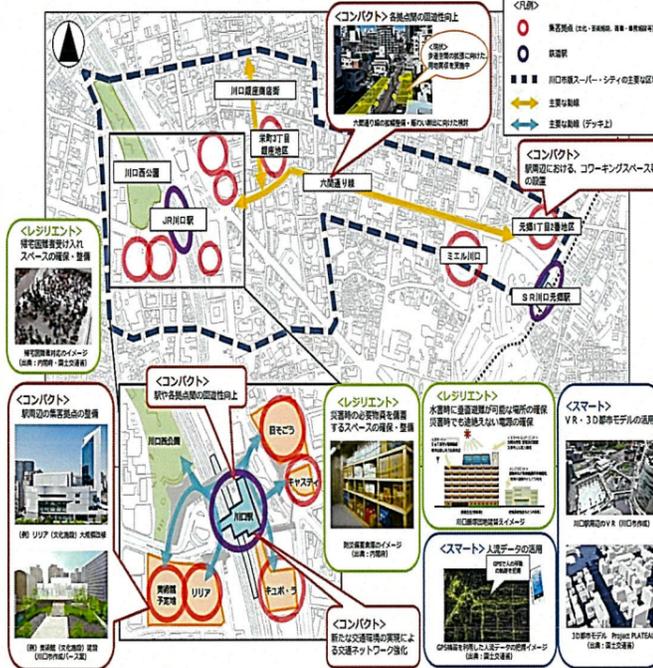
今後、パブリックコメントや川口市議会で協議した後、基本的協定を来年中にはJR東日本側と合意するとの事です。ただ、**災害時等発生した時も想定し並走する路線の冗長化だけでなく、1キロ先の川口元郷駅までの整備並びに地下鉄南北線へのリダンダンシー効果も再考する必要もあります。**420億円のコストが高いから中止や反対と決めつけるのではなく、**今後東西交通で埼玉県の政策である「あと数マイルプロジェクト」で日暮里舎人ライナーの延伸ルートの決定もある事から、市内全域を踏まえて考えていく必要があります。**



順天堂大学附属病院整備の進捗状況について

浦和美園駅周辺に整備予定の順天堂大学附属病院について、埼玉民主フォーラム会派で勉強会を開き進捗状況のヒアリングや意見交換などを行いました。

- ・平成26年から続く、順天堂大学付属病院整備計画では平成30年開業予定が大幅に遅れ、医師不足解消のための同大学からの医師派遣は当面2人の状況。
- ・医師不足・診療科の偏在性のある北部医療圏では、過剰病床の為、さいたま医療圏の400病床不足を利用し、さいたま市内に800病床の順天堂大学附属病院を整備することを決定。
- ・しかし、平成30年開業予定であった同大学病院が開業延期。また、**不足している地域医療圏への同病院からの医師派遣が中々行われてこなかった。**
- ・整備費（主に新大学附属病院の建設費）の**1/2以下を埼玉県が補助。**※近年では、岩手県立大学病院の1000床ベット整備費用で700億円。
- ・一歩前進は、医師派遣は開業前に2人でしたが、知事や医療審議会の要請等により、開業予定の令和9年から順次3人、4人、5人増員を同大学と確約。



↑川口市版スーパー・シティプロジェクト取組概要

あと数マイル・プロジェクト 県内公共交通網の充実に向けて

- ◎埼玉高速鉄道線 岩槻まで延伸調査費 2,500万円
- ◎日暮里舎人ライナー等 延伸調査費 962万円

一既設路線 二あと数マイル・プロジェクト路線



しらね だいすけ

Shirane Daisuke
Four of policy

埼玉県議会議員 (川口市)

やります！
できます！
届けます！

県政報告 令和6年
9月定例会

誰しもが認め合える社会を目指して



9月定例会閉会！ 知事へ予算要望書提出 しらね次回一般質問12月6日登壇予定

埼玉県議会9月定例会は10月16日に閉会しました。**県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実**や、公共事業の追加にかかる補正予算（第1号）50億1,156万2千円、衆議院選挙にかかる補正予算（第2号）37億7,531万7千円など、47議案が可決・承認・同意されました。

また、定例会に先立ち50の各種団体と来年度予算に関する要望事項のヒアリング、意見交換会を実施し、近年の円安による物価高の影響に伴い、介護施設の経営や働く方々の給与が厳しい状況である事から、定例会最終日に大野知事へ各常任委員会の8分野172項目について要望しました。

企画財政委員会の行政報告中で、窓口払いにおけるキャッシュレス化について、皆様方からの要望によりしらねも行政に働きかけたJCBカード等のクレジットカードも利用可能となり便利になります。

ただ、運転免許証の更新手続き等やパスポート窓口申請などについては現金払いの併用が出来ないなど不便を感じている県民もいることから、完全キャッシュレス化した理由（コスト大との事）と他の都道府県の状況について質問したところ、**現金払いが認められないのは埼玉県のみ**との回答でした。



番号	件名	要旨	審査結果
第83号	令和6年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の補正 <ul style="list-style-type: none"> 歳入歳出補正予算額 50億1,156万2千円 累計額 2兆1,285億3,087万9千円 繰越明許費の補正 <ul style="list-style-type: none"> 追加30件 地方債補正 <ul style="list-style-type: none"> 変更4件 ※令和6年10月10日に提出された知事提出施設案「令和6年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)」が原案可決されたことを受け、歳入歳出予算の【累計額】が同年10月16日付で変更されました。	原案可決
第97号	令和6年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の補正 <ul style="list-style-type: none"> 歳入歳出補正予算額 37億7,531万7千円 累計額 2兆1,235億1,931万7千円 	原案可決

窓口収納におけるキャッシュレス化の推進について 資料1

1 目的
県ではDX推進の一環として、窓口収納のキャッシュレス化を進めることにより、県民サービスの向上及び会計事務の効率化を図る。

2 令和5年度の取組

(1) 内容
 ・対象 収入証紙により収納していた手数料
 実施機関 366
 (運転免許センター、警察署、パスポートセンター、県役事務所など)
 実施手続 544
 ・利用可能な支払方法
 クレジットカード・デビットカード Visa, Mastercard
 電子マネー nanaco, WAON, 楽天Edy, Suica・PASMOなどの交通系電子マネー
 コード決済 PayPay, au PAY, 楽天Edy, QR

(2) 実施状況
 ・令和5年10月 キャッシュレス決済開始
 ・令和5年12月末 証紙の取扱いを終了
 ・令和6年3月末 証紙の利用を終了

◆キャッシュレス決済利用率 **98.0%**
(令和6年度第1回分報、有観客ベース)

3 令和6年度の取組

(1) キャッシュレス決済の更なる拡大(10月~)
 ・対象 現金により収納している手数料、使用料等
 実施機関 19
 (印刷所、埼玉県労働基準センター、環境科学国際センターなど)
 実施手続 119

(2) 決済ブランドの拡充(10月~)
 以下のクレジットカード・デビットカードを追加
 ・JCB
 ・American Express
 ・Diners Club

医療的ケア児の通学支援の充実 (仮称)川口北警察署庁舎の工事請負契約の締結

(仮称)川口北警察署庁舎の新設につきましては、令和元年9月定例会において、早期完成に向けた意気込みを含めた見解を求める質問を行い、「可能な限り川口市等との協議を加速させ、諸課題を解決しつつ新設の条件が整った段階で方針決定ができるよう、関係部局と協議を進めていく。」と前向きな答弁を引き出すなど、以前より川口市北東部地区への警察署新設の必要性を訴えてまいりました。

県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実 / 新生児マススクリーニング検査の対象拡大

通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減 7,153万3千円

新生児マススクリーニング検査に関する実証 1億4,138万5千円

概要
 医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ
 登校時の場合
 利用者の自宅 → 福祉タクシー → 学校
 効果 医療的ケア児の保護者負担の軽減

概要 (国の実証事業への参加)
 2疾患を追加した検査の対象を全新生児*に拡大する
 >対象疾患
 重症複合免疫不全症(SCID)
 先天性筋萎縮性変性症(SMA)
 *出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患
 *免疫力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患
 >実施機関数 25 → 86機関
 (※10月9日現在) (※10月31日現在)

検査体制
 新生児・保護者 → ①同意 → ②検体採取(採血) → ③検体運送 → ④検査結果 → ⑤検査結果説明 → ⑥分検取扱機関 → 検査機関

留意点: 陽性の場合、精密検査医療機関への受診勧奨 → 早期診断・早期治療へ

工事請負契約の締結について ((仮称)川口北警察署庁舎新築工事)

事業の概要 (令和9年3月開署予定)

- 整備目的 川口市内の治安情勢等に的確に対応するため、同市北東部地域に警察署を新設
- 整備効果 市内全域にわたる警察活動の強化
- 設置場所 川口市大字西立野地内
(現在の警署) 跡地12号

工事の概要

- 構造・規模 庁舎棟 : 鉄筋コンクリート造4階建 5,127.88㎡
- 車庫・倉庫棟 鉄骨造2階建 1,271.16㎡
- 履行期限 令和9年1月31日
- 請負金額 22億1,100万円(税込)

地図: 川口警察署、武南警察署、(仮称)川口北警察署

安心して安全に生活できるための緊急要望

川口市では過去3ヶ月で7名の交通死亡事故の犠牲者があり、川口市は県の要項に従い交通事故防止特別対策地域指定されます。期間（10月8から1月7日までの3か月間指定）

この事故には、トルコ国籍の無免許運転でのひき逃げ事件や中国国籍の飲酒運転ひき逃げ事件など悪質極まりないケースも含まれております。

このような痛ましい事件を発生させないためにも、埼玉民主フォーラムと無所属県民会議の両会派で「安心して安全に生活できるための緊急要望」を鈴木警察本部長宛に提出いたしました。

私からは、一部の外国人が資材置き場の周辺で暴走運転をしており、周辺住民がいつ事故が起こってもおかしくない危険な状況であることを説明し対策を警察に要望させていただきました。在住外国人の犯罪件数は、川口警察署、武南警察署、蕨警察署関内に集中しており、県警察のほうには広域的に取り締まり等の対策を要請した次第です。

また、**国の方には改めて警察官の増員の要望**もさせていただきました。ちなみに、令和5年6月定例会では、埼玉県の警察官は日本一高い負担（**警察官1人当たりのカバー人口が令和4年度は636人で、14年続ワースト記録**。東京都警視庁は322人で埼玉県の2分の1）で働いている状況を踏まえて、警察官の増員に向けて国に要望を求める質問を行い、国への意見書の中に、在留外国人のルール違反への対応強化などの理由による、警察官増員の要望が盛り込まれました。

さらに、こちらの要望を受け10月24日には、西川口陸橋付近地2か所で、埼玉県警本部、川口・武南警察署で飲酒運転の一斉取り締りを中心とした交通検問を実施しました。ただ、飲酒運転一方通行道を100キロ以上で逆走し、被害者をたとえ死亡させても「危険運転致死」罪でなく「過失運転致死」罪に軽くなってしまふ今の規定を改めないで、理不尽な事態になってしまいます。

埼玉県警察本部長
鈴木基之 様

安心して安全に生活できるための緊急要望

埼玉民主フォーラム 代表 田並尚明
無所属県民会議 代表 井上 航

川口市で9月23日夜、乗用車と原付きバイクが衝突し、バイクに乗った少年2人が死傷したひき逃げ事件で、市内のトルコ国籍の18歳の男性が自動車運転死傷処罰法違反（無免許過失運転致死）と道路交通法違反（ひき逃げ）容疑で逮捕された。事故に遭った男性2人はいずれも市内に住む日本人の17歳の建設作業員と16歳の高校生で、建設作業員は死亡、高校生は意識不明の重体である。

また、同市では9月29日にも、飲酒運転の車が乗用車と衝突する事故があり1人が死亡した。中国籍で無職の18歳の容疑者は逆走運転をしており、酒気帯び運転と過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕され、容疑を危険運転致死に切り替え捜査をしている。

本県においては、約22万人の外国人住民がおり、県内に在住する外国人の国籍・地域は160を超え、年々増えてきている。川口市には41,000人を超える外国人住民がおり、なかには在留資格未取得外国人で仮放免者なども相当数滞在しているものと推測される。そして、一部外国人住民による目に余る行為も多発し、安心して暮らしを阻害する行為が横行している現状もある。

今後、事件・事故を減少させ、県民が安心して安全に生活できるように以下について早急に対策を講じるよう強く要望する。

- 1 警察官の増員をし人的基盤の強化
- 2 川口市内のパトロール強化
- 3 川口市内の資材置き場周辺での暴走運転の取り締まり強化
- 4 飲酒運転撲滅に向けての取り締まり強化
- 5 無免許運転撲滅に向けての対策強化
- 6 国と連携し不法滞在者の取り締まり強化

以上



警察官の増員求め
川口市で9月下旬に無免許ひき逃げ事件が相次ぎ、飲酒運転の逆走による死亡事故も相次いで発生している。県民フォーラム代表は、このままでは、県民の安全と安心に生活できない状態を懸念し、警察官の増員を求め、国に要望する。また、飲酒運転の逆走による死亡事故も相次いで発生している。県民フォーラム代表は、このままでは、県民の安全と安心に生活できない状態を懸念し、警察官の増員を求め、国に要望する。

市長動静
午前、赤い羽根共同募金の街頭活動。市庁舎前で、午後、市農業委員会委員と、市田圃北東面会合。GDO STREET DANCE WOLD CHAMPIONSHIP 2024 結果発表。午前、発表。

知事動静
午前、赤い羽根共同募金の街頭活動。市庁舎前で、午後、市農業委員会委員と、市田圃北東面会合。GDO STREET DANCE WOLD CHAMPIONSHIP 2024 結果発表。午前、発表。

出典:R.6 10月2日 埼玉新聞 田並代表、岡村・白根県議

Profile ~しらねだいすけの足跡~

主な県政の実績: SRと東京メトロの一日乗車券値下げ、屋内50Mプール川口市に設置、AIチャットボットの廃止 洪水ハザードマップの推進、あんしん賃貸住宅の拡充等、(仮)川口北警察署の新設

1979年5月13日生まれ、川口市朝日出身、十二月田（しわすだ）小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ボストン大学（政治科学学部）卒業 <留学中マンチェスター市市長室でインターン経験>、富士通（株）入社し、営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社、2007年の統一地方選挙で市内交通網（特に、コミュニティバス路線網）の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳) 当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後初の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点、大野もとひろ参議院議員事務所スタッフ。朝日2丁目副町会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選、2023年には2回目の当選を果たす。現在：学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディカルヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野RC、川口YEG、川口市ワンバウンドふらば〜るバレー参与、(公社)川口青年会議所卒業 【令和6年度：企画財政常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会、図書委員会 所属】

埼玉民主フォーラム川口支部 TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462
〒332-0001 川口市朝日2-17-7 http://www.d-shirane.jp

